

交換留学 レポート第一回

総合理工学部 物理・マテリアル工学科 森本千晴

私は 2023 年 8 月 14 日からケント州立大学に留学しています。元々留学をするつもりはありませんでしたが、昨年の 10 月ごろから興味を持ち現在に至ります。皆さんも思い立ったが吉日ということで、やりたいことがあれば直ぐにとりかかってみることをお勧めします。私自身締切ギリギリでしたが何とかできました。

ケント州立大学はファッションの分野で世界的に有名ですが、その他の学科も魅力的なものばかりです。先生はとてもユニークで学生もみな優しいです。日本との違いはやはり日常的に他人にかかわろうとすることです。「あなたの服素敵ね。調子はどう？」と普通に知らない人から話しかけられます。私もまだ慣れずびっくりしますが、これが当たり前なのかなと思います。

留学で大切なことは目的を持つことです。なぜここにいるのか、どうして行きたかったのかと考えることで行動に移しやすくなります。学校では様々なイベントが行われていて楽しいことがたくさんありますが、その流れに乗っているとあっという間に時間がたってしまうので、やりたいことを明確にしておくことが効率的に時間を使うカギになります。私の目的としては海外で友達や先生とのつながりを作ることです。これから先、様々な道を行く人達とつながることで自分の選択肢を増やし、共有することでより思考の幅を広げる算段です。私自身アートに興味を持っていて、同じくアートに興味のある学生や先生とつながりを持っておきたいと考えております。ここでは実際にアートで成功するにはどうすればよいかなど、その道をサポートしてくれる授業があり非常に面白いです。日本では芸術を学ぶには専門学校や美大、芸大に通わなければいけませんが、海外は芸術という学問がほかの文系、理系科目と同じように存在しています。ある意味専門性の壁が取り払われた環境ということで、専攻の異なる学生たちとあたりまえに交流できます。とても貴重な機会なので積極的に活動していこうと思います。

食事に関しては思っていたほど悪くないというのが感想です。揚げ物や砂糖ばかりなのかと思いましたが、野菜や果物も豊富にあります。スタイルのいい学生なんかはずっとサラダを食べている印象です。ダウンタウンには寿司などの日本料理のレストランがありました。日本と同じくらい美味しいと思いました。変わった味がしないというか、とても自然な寿司です。割り箸には「おてもと」とかかかれています。なんだか嬉しかったです。

授業が始まって 1 週間ですが、改めて勉強の楽しさに気がつきました。日本では専門性の壁があってあらゆる教科をとることはできませんが、ここでは文系や理系、芸術を好きなだけ学ぶことができます。私がとっているのは考古学、地球科学、アート、ビジネス、ピア

ノの授業です。どれも面白いです。しかしキャンパスがとても広いので初回の授業は迷ったりしました。最近は慣れてきて地図をあまり見なくても直感でたどり着くことができるようになりました。これからテストやミニクイズなどの提出物で忙しくなりますが楽しもうと思います。

私の住んでいるところは大学寮で、ルームメイトはナイジェリア出身です。彼女は料理や裁縫が好きで、この前はテレビを買ってきました。とてもアクティブな人で面白いです。大変なことは寝る時間を決めるかどうかです。それぞれ眠くなる時間は違うので電気を付けたり消したりするのに一言いります。でも孤独を感じることはないのでダブルルームにしてよかったかなと思います。

今回のレポートは以上です。

